

ベトナム子供基金
〒113 東京都文京区本駒込2-12-13
アジア文化会館内アジアセミナー室気付
TEL:03-3946-4121 (代) FAX:03-3946-7599

QUY HOC BONG LA XANH (ベトナム青葉奨学会)
c/o TRUONG NHAT NGU DONG DU (ドンズー日本語学校)
43D/46 HO VAN HUE, PHU NHUAN, HO CHI MINH CITY,
VIETNAM
TEL:84-8-8453782 FAX:8454228

ベトナム訪問ツアー

昨年8月末にダラット市で子供達と共に過ごすベトナム訪問ツアーを試験的に行ってみました。参加された皆さんの座談会を2回に分けて報告します。



ベトナム子供基金通信第4号

目次

- ・ベトナムツアーに参加して--1P
- ・ベトナム報告 -8P
- ・子供基金事務局より --10P

ベトナム訪問ツアーに参加して・・・

— ツアー参加者座談会 —

ツアーの内容

- 8月28日 関西空港からホーチミンへ
29日 ドンズー日本語学校訪問と市内観光
30日 子供達とダラットへ泊旅行
31日
9月1日 メコンデルタのミトで小学校訪問
2日 夜ホーチミン発
3日 関西空港着 (6:30am)

ツアーに参加された方

梅野 昭一さん (※)

沖津 美智子さん

原 二郎さん (※)

原 あや子さん (※)

南 康雄さん (※)

(※)は座談会出席者

ホーチミン事務局より

丸山 明美さん

市川 珠美さん

●「子供たちと接したい・・・。」

南: 今日はお忙しいところお集まり戴いてありがとうございます。ベトナムの里子訪問ステイ・ツアーということで、今年の8月28日から9月3日までベトナムに行ってきたわけですが、今回は本格的に始める前のトライアルということで、身近にいる方にご参加戴きました。沖津さん、梅野さん、原さんご夫妻、それに私の5名ということになりました。今日は、沖津さんが用事で来られませんので、梅野さんと原さんご夫妻においで戴いて、今回行なったツアーの反省といいますが、そこらへんを話していただこうと思います。

まず梅野さんは、以前、「青葉奨学会」の母体であるホーチミン市のドンズー日本語学校で日本語の先生をされていまして、また今回の旅行に参加していただいたわけですけど、まず梅野さんから、ご感想を伺いたいと思うんですか・・・。

梅野: いまご紹介ありましたように、私、3年前に約1年間、ドンズー学校で日本語の教師をしておりました。またベトナムに行きたいな、と思っておりましたところ、このような「ベトナム子供基金」の会で一緒にできて、本当に楽しく有意義な旅行ができました。私自身は「子供基金」には入ってますけれども、特定の里子はおりません。従いまして、全般支援とい

う気持ちで行ったんですけれども、なんか、外野のような感じで、申し訳なかったんですけども、これからもこういう機会がありましたら、また参加させていただきたいと思います。

南: 原さんご夫妻は、ベトナムに里子がいらっしやるんですけれども、原さんは今回ベトナムへは初めてで、いかがでしたか？

原: 私、タイにも里子が2名いるんで、タイには2回行きましたが、ベトナムは初めてでした。ただ観光だけが目的じゃなくて、そういう子供たちと接して、これからどんなことを援助してやればいいのかということを見て来たいというのが、ひとつの目的だったんです。里子の家を訪ねたんですが、なかなか見つからなくて、最後に5分か10分ぐらいしか、会えなかったんで、もう少しコミュニケーションができればなあと思いました。だから、機会があったらもう一度行って、会いたいなあと思っています。

南: 原さんご夫妻の里子は、ミトという所にいる子供で、ホーチミン市からは車で2時間ぐらいの所なんです。地方ですと、子供の住んでいる所が分かりにくいということがありまして、小学校の校長先生とか担任の先生なんかにも聞きまわって、やっと訪ねあてることができたという状況だったんです。

- 事前に子供さんの方には連絡は行ってなかったんですか。

原：その辺がちょっとわかんないですけどね。かれこれ2時間くらい、PTAの会長さんや副校長さんまで回ったんですけど、やっと帰る直前ごろになって見つかって、ちょっと出てきてもらって、5分か10分くらい話して、車のそばで写真とって、それですぐ帰らなければならなかったんです。

南：直接子供の家を訪ねるのはちょっとまずいんじゃないかという意見があって、校長先生とか、担任の先生を通して尋ね歩いたということもあります。

原：偉い人を通さないで直接行くと、公安上などの問題が起きるのでということをお話しましたね。そういう意味では、なんとか会えてよかったと思います。もうちょっと何かしてあげたかったな、という気もしました。学校に来てもらってとかを決めておけば、できるんじゃないのかな。遠いからドンズーにはちょっと無理でしょうね。ドンズーじゃなくて、事前に段取りして、小学校あたりで待ち合わせるとか。

梅野：ドンズーで教師していた時に、2カ月に一回ぐらいですね、お金をお渡しする日、ホウエさんが小学校の教室を借りて、いまならドンズー学校でいいんですがね、奨学生みんな集めて、ひとりひとり確認しながら渡してくんです。私は今度もそういう時に呼ばれて行くと思ったんです。それならば、ミトの方の遠い人はだめですが、付近の人はみんな来られるんですね。小さい子はお母さんとかお父さんが連れてくるし、大きな子はひとりで来ますしね。ですから。今度やられる時、そういう機会を利用されたら、少なくともホーチミン市内はもう一時に済んじゃうわけですね。

原夫人：学校のスタッフなんかも、お家をさがして下さるのに苦労してくださってね、会えた時は本当に感動しました。私もうれしかったです。本当に、みなさんのご協力です。まあ、いろんな意味でホーチミン市の子供たちに会うのは比較的やさしいみたいですが、地方ですと、いろいろと難しいようですね。ちょうど休みの時だったからよけいだったかも知れない。しかしああいう機会じゃなければ、ああいうプランは組めなかったわけですよ。どこかへ連れてってあげるようなことはできなかった



と思う。折角行ったんだから一度ぐらいどこかへ連れてってやりたかったなあ。

原：タイの場合は、里子にはもちろん寮にいますから、そこで会ってコミュニケーションをとることはできますけれど、里子の実家の方には、里子といっしょに行っても、言葉もしゃべれませんから、ちょっと会ってそれでそこは引き上げてきちゃう。里子の家を訪問して、どういうお宅かというのを見て来るんですね。家族だとかだいたい揃ってしてくれる。家族に何かプレゼントして。突然行ったから、向こうも何も言わないですけどね。もう少し、話ができたらなあという気もする。

南：事前連絡を徹底しておかないともったいないですね。今回ちょっと事前の時間がなかったというのがあって、それはこれからやるときの課題だと思います。

- ミトの子供さんにはお金はどういうふうに渡してるんですか。学校の先生を通じてでしょうか？

梅野：ミトの場合はですね、スタッフの人たちが揃って行くんです、一日がかりで。それで、一カ月ごとに渡すんじゃなくて3カ月ぐらいまとめて渡すんです。奨学金を支給する人を各クラスから集めて、他の生徒たちが見てる前で、こういう人が、こういう趣旨で日本からお金をくださるので使って下さい、という授与式みたいな形でやっています。そうすることで、励みになるというんでしょうかね。奨学金が貰えるように頑張ろうというふうになる。ですから間接的に渡さないことで、ご褒美の授与式みたいで。

南：沖津さんの子供さんは5人もダラットに行く前の日にドンズー日本語学校へ来て、子供たちの自己紹介とか、われわれの紹介とかしてもらって、お互いに確認をしました。

- 年齢はどのくらいの子供さんだったんですか？

南：一番上の女の子が高校2年生で、もうひとりの高校1年生かな。中学の女の子が2年か3年ぐらいか。一番小さい子が中学1年ぐら



い。だから、みんな中学生以上ですね。

ですから、そういう意味では沖津さんと英語である程度、話ができたっていうこともあって、意志疎通は比較的うまく行ったと思うんです。小学生の里子なんかですと、ベトナム語の通訳がいないとちょっと話しは、通じないですね。

- 通訳はぜんぜんつかかなかったのですか？

南：ベトナム人はホウエさんと、手伝って戴いているゲットさんという女性と一緒に行ってくれました。ホーチミン市の市内観光には、ある程度日本語が話せる日本語学校の生徒が2回ぐらい一緒についてきてくれました。

●「楽しかったダラット一泊旅行」

- 最初にドンズーに集って、その日の夜、ダラットに行かれたんですか？

原：いえいえ、その日の夜はホーチミン市です。最初の2日間はホーチミン市です。

- 行くとすぐ子供に会うわけですか？

原：その日は、午後5時45分到着ですので、ホテルにチェックインして、そのあとホウエさんたちと食事をしました。ですからドンズーに行ったのはその翌日ですね。そこで、沖津さんの子供たちに会ったり、ドンズーで日本語を学んでいるベトナム人の生徒なんかといろいろ雑談したりして、その日の午後にはホーチミン市の市内観光。

- 子供も一緒にですか。

原：一緒に市内観光もしたんですが、その前に近くの里子が来てくれて、その子供たちの家を訪問しました。里子たちがどういう状況のところにいるのかということも知りたくて、子供たちに同道というようなことになりまして、それで一カ所、ドンズーの近くの子供の家とあと中国人街のチョロンの方にあるお宅を訪問しました。

- どんな感じでしたか？

原：われわれが訪問した家は、へんな言い方ですが、そんなにびっくりするほどの貧しさではなかったですね。

南：男の子の家は、豊かとまでは行かなかったですが、普通からちょっと。もうひとり、女の子の家は大変だろうなって感じですね。両親がいなくて、叔母さんに育ててもらっている。すごくはっきりした子だったね。5人のなかにひとりだけ日本語をしゃべる子がいるんですよ。ドンズーがかっこいいって言ってましたね。高校生ぐらいじゃないんですか。

原：中学生です。

- 中学生で？ 中学校に行く以外にもドンズーにも行ってらっしゃいますか？

原：奨学会の子供がドンズーで日本語やってるんです。（写真を指しながら）この子とこの子。

- 訪ねる時はご家族がみなさん迎えて下さるような感じだったんですか？

原：ええ、叔母さんといとこでしょうね。いらっしゃいました。ミシンを踏んで内職してますって。バッグかなんかの内職で。機械を支給されて手間賃みたいだって言ってました。

その子がやさしくてしっかりしてて、ああいう境遇だからああいうふうになるのかなあと、思って見てたけど。沖津さんがホテルに行くと、すぐその子が気がつくんです。やはり両親がいない子はしっかりしてるねって沖津さんもおっしゃってましたけど。私たちが部屋が違ったもんですから。女の子3人と沖津さんが同じ部屋だね。

南：2日目はホーチミン市内を観光したんですね。昔の南ベトナム大統領の官邸だとか戦争博物館。戦争博物館は前はなかったそうなんですけども、新しく展示室ができて、ベトナム戦争中、米軍などに反戦の意志表示をしていた日本の市民団体の運動とか資料が、が展示してありました。夜はサイゴン

川クルーズで夜食を食べました。船に乗って頂きました。

- 3日目にダラットへ行かれたのですね。

南：ダラットへはチャーターしたバスで行きました。ダラットはバスで5時間ぐらいかかる所なんですけど、子供たちはあんまり乗物に乗り慣れてないということもあって、その内のふたりの女の子が車酔いしちゃって、かなり苦しそうで、かわいそうでした。

- ダラットではどういうふうな過ごし方をしたんでしょうか？

南：ダラットにはお昼ごろ着いて、まず昼食をとってからホテルにチェックインしました。それから市内観光、名所旧跡めぐりってほどでもないですが、まあそういう感じでした。キャンプをするという話だったので、子供たちと何か特別な行事をやるのかなということが頭にあったんですけども、特にそういうことはありませんでした。子供たちはあんまり旅行の機会がないみたいで、彼らにとってはダラットに行けたというのは、楽しいことだったんじゃないかな。

原：あんなとこに行ったことも、泊まったこともないでしょうからね。大喜びだった。

●「ベトナムの食事は・・・。」

- ベトナム料理はどうでしたか。

原：特に食べづらくはないね。辛くはないですからね。辛いものは食べてないせいかもしれないけど。全般的に言って、タイに比べるとそんなに辛くはないね。

- 旅行期間中、日本食はいっぱい食べないで？

原：特に日本食というのは。ただ、最後にダラットに入って、中華屋さんに行った時はおいしかったねすごく。向こうのシェフがいろんなものを作ってくれて。日本人の口に合うように

作ってるのかなと思って食べてたけど。

原：食べものはほとんど食べられるんじゃないですかね。これは珍しいってものも食べさせていただいたけど。

南：ライス・ペーパー。春巻の揚げたてあるやつ。生春巻も食べたなあ。

原：カップえびせんみたいなやつに、野菜サラダみたいのを乗っけてパリパリ食べるんだけど、それがいろんな種類あるんだね。

- 朝なんかは主にホテルで何食べてました？

原：パンがたくさんあるんですね、向こうは。あとはうどん。だから、外国の味に慣れない人でもパンがものすごく発達してるから、平気なんじゃないですか、パンを食べれば。まあ、日本人にとって、そんなに食べられない、これはどうしてもっていうのはそんなにないですね。

- 今回、向こうで使ったホテルはどうでしたか？

南：いいホテルですね。びっくりしましたね。

原：あのくらいだったらいいんじゃないですか。あのあと私1カ月たって香港へ行ったんです。香港もいいホテルでしたけどね、ベトナムの方がサービスが良かったですね。

- ツアーに行って一番楽しかったことは？

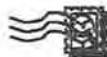
原：やっぱり子供たちの純粹なのが、一番いいなあ。自分の里子にはほんの10分ぐらしか会えなかったですけども、沖津さんの子供さんたちとはゆっくり過ごせましたから。

-次号へ続く-



里子への手紙は青葉奨学会へ直接お出しください。
青葉奨学会でベトナム語の翻訳をつけて子供さんに転送致します。

青葉奨学会への宛名の書き方の例



To: QUY HOC BONG LA XANH
c/o TRUONG NHAT NGU DONG DU,
43 D/46 HO VAN HUE, PHU NHUAN,
HO CHI MINH CITY,
VIETNAM

ベトナム報告

土井 敏邦 (ジャーナリスト)

運営委員の土井さんが奨学生のチュン君とその家族にインタビューを行いました。

チュン君の母姉へのインタビュー

母親：夫は以前ハノイで仕事をしており、1975年以後にホーチミン市に引っ越しましたが、夫が事故で1980年に死亡しました。

夫が亡くなってから、家族の仕事は大変になりました。子供たちはしばらく学校を休み、勉強を続けられるようになったのは、何年も経ったあとのことでした。

夫が亡くなったとき、長男はまだ7歳で、兄弟は学校へも行けなくなり、私は廃品回収業をして生活をささえました。

現在、長男はまな板造りをしており、収入は月40万ドンです。他の所に家庭を持ち独立しています。長女の収入は45万ドンから50万ドンです。不安定で低賃金の裁縫の仕事をしています。

私は今、もう仕事はせず、家の仕事をしがてら長女の仕事も手伝います。ときどき、長女は少し金を渡してくれませんが、50万ドンで家族が生活するのはとても大変です。2、3年前に家族の生活がどん底の時、次男チョンは失望して薬を飲んで自殺しようとしてました。私はすごく叱り、世の中にはもっと貧しい人もいるのだから、がんばって生きてくれと説得したものです。

息子は自殺を思い止まり、今はドンズー学校に強い関心を抱いて、よく勉強しています。

姉：弟は大学で勉強しながら、仕事をして、家族の生活費を手助けしたいと思っているようです。今、家族は少しずつ貯金をして弟が大学で勉強できるようにがんばっています。

母親：チュンの弟が学校を辞めたのは、家族の経済状態のためです。

姉：今の奨学金の8万ドンでは本当は足りません。大学に入るためのいろいろな勉強をしなければなりませんから。塾の費用と本代だけで1ヵ月で10万ドンが必要です。今家族は貯金をして、チュンの勉強のためにすごく頑張っています。

ます。毎日、朝7時から夜10時まで働いています。毎日の収入は2万ドンぐらいです。月曜日から日曜日まで働き、休みは仕事がないときだけです。

母親：チュンが高校を卒業して大学に入るように希望しています。何でも好きな専門を選んで勉強してほしいです。自分が好きでなければ成功しませんから、選ばせませう。大学で良く勉強してから卒業し、まず自分の将来が良くなって、あとは社会に役立つようになってほしいです。

姉：チュンは大学を卒業して、自分と社会に役立つようになってほしいです。いい仕事をして今の家族の状況よりいい家族をもってほしいです。

チュン君 インタビュー

毎日の日課は6時に起きて6時半まで復習して、学校の勉強は11時半までです。

11時45分に家に帰ってきて、食事をしてちょっと勉強します。月曜日には午後2時から3時45分まで塾で化学を勉強します。その後、すぐ学校へ行って、体操の授業を受けます。5時から9時まで英語のコースの人達のバイクの番人をします。そのとき、自分の教科書をもっていて、電灯の下で勉強します。そのとき、自分の教科書をもって行って、電灯の下で勉強します。時間が足りなかったら、次の日の朝や日曜日にやります。火曜日には午前中はいつも通りですが、午後2時から4時まで物理の勉強で、4時から6時まで数学の勉強をします。6時から9時まではやはりバイクの番人をします。番人をするアルバイトを休むのは日曜日だけです。

収入は30万から40万ドンです。でも、休みが多い月には収入は減ります。

将来、大学で化学か建築を勉強したいです。

(大学へ入学するための金は?)

今貯金をして、100万ドンから150万

ンを貯めています。今は一緒懸命勉強して、奨学金をもらえるように努力しています。

(自分だけが大学へ入ることにどういう気持ち?)

家族は貧しくても、兄弟はみな大学へ行けなくても、私が大学にはいるように応援してくれます。それは、お母さんとお姉さん、弟のおかげです。家族は私の勉強のために、一生懸命働いて、ときどき、それを見ると、とても辛くなります。家族は私にとってすごく大切なものなので、将来、どこへ行っても忘れません。今は頑張っ勉強していますが、家族の状況を見ると、集中できないときもあります。

(青葉奨学会の手伝いはなぜ?)

今、ドンズーの青葉奨学会を手伝っています。本当は家族は私の手伝いがいりますから、奨学会の手伝いのことは家族に秘密でした。そのことは貧しい子供を手伝うためですから、すごく意味のあることだと思います。けれども、家族に、ドンズーに勉強しに行くと言いました。

(どうして、家族に知られたら困る?)

もし、家族に知らせたら、そのことは勉強とは関係がないから叱られます。

(どうして、お姉さんや弟は学校を中退したの?)

弟は経済的な理由で途中で勉強をやめました。兄弟の中で私が一番勉強ができるので、みんな私のために犠牲になりました。弟と私と二人が勉強するための余裕はありません。だから、弟は学校を辞めました。もし、二人が勉強を続けたら家族の生活は食事さえ事欠きます。だから、一番勉強のできる私を応援してくれます。将来、もし生活が楽になったら、弟も勉強してもらいたいです。

(家族の状況は?)

お兄さんは結婚してべつの所にすんでいますから、その収入は判りません。お姉さんの収入は40万から45万ドンです。毎日の収入はだいたい1万5千ドンです。多くても1ヶ月の収入は50万ドンです。お母さんの場合は、政府から何万ドンかぐらいもらいます。毎月、政府からお父さんの恩給が出ます。弟は今働いてい

ますが、その収入は詳しくはわかりません。お兄さんはぜんぜん援助していません。ときどき家族の金をもらいにきます。なぜかという、兄は公務員で給料が安いし奥さんは仕事をしていません。それに子供が一人いるから、ときどき金や米をもらいにきます。

(奨学金をどう使う?)

毎月の奨学金とバイク番のアルバイトの収入を学費と本代に使います。残りは貯金をします。大学に入るためです。

(塾はどんな科目? また費用は?)

月曜日は午後2時から3時45分まで化学、火曜日は2時から4時まで物理の勉強で、4時から6時まで数学の勉強です。日曜日の朝、6時45分から11時半まで絵を描く勉強をします。塾の費用は数学が1ヶ月6万ドン、物理が3万ドン、化学は4万ドンです。絵を描く勉強の費用は1日2万ドンです。10日分を一度に払ったら、少し安くしてもらって、18万ドンです。学費は奨学金と番人の収入から出します。足りなかったら、お姉さんからもらいます。

(あとどのくらい奨学金が必要?)

毎月8万ドンを奨学金としてもらっています。いくらでもありがたいですから、それ以上は要求しません。

(将来はどういう人に)

建築技師になりたい。建築大学を卒業してから、仕事を捜して一生懸命にやります。それから家族を手伝います。私が今勉強できるのは精神的にも物質的にも家族のおかげです。仕事をして、お金を家族に援助します。母を大切に思い、今まで私の勉強を助けてくれたことはとても忘れられません。姉の愛情もありがたく、もしできれば、将来、姉を援助したいです。弟もできれば、私が卒業し仕事を得てから勉強させたいと思います。毎月、ドンズー学校から奨学金をもらっています。それは本当は勉強に十分ではありませんが、奨学金とは私たちがもっと勉強するように励ますためのご褒美だと思っています。私は心から日本とアメリカから援助してくださっている方々とドンズー学校にお礼を言いたいです。

事務局からのお知らせ

会費納付は次のところをお願いいたします。
 □座名義はいずれも「ベトナム子供基金」です。

郵便振替 : 00140-1-70399

銀行振込 : 富士銀行駒込支店 普通預金1495745

里親基金 年額 1口 20,000円	特定の「里子」に奨学金を支給する「里親」 になっていただきます。「ベトナム青葉奨学 会」から子供と家族の履歴表が届き、子供と手 紙のやり取りができます。
一般基金 年額 1口 12,000円	会員全体が子供たち全体の「里親」という関 係を想定しています。「ベトナム子供基金通 信」によって、会の運営報告、子供たちの様子 などをお伝えします。
賛助基金	一般基金に準じます。金額、回数等一切自 由とします。

◆転居等で連絡先が変わった場合は、ベトナム子供基金事務局宛にご連絡
 をお願い致します。

◆事務局への電話でのご連絡は、月～金の午後2時から9時の間にお願い
 いたします

◆ あとがき ◆

・最近のサイゴン川の写真を見る機会がありました。以前に比べ広告看板の数が増えていて驚きま
 した。

・ハールポップ彗星をご覧になりましたか？あんなにはっきり見えるとは・・・、感激しました。
 ・今年のインフルエンザは強力でした。私は年明け早々に一週間寝込んでいました。皆様は大丈夫
 でしたか？

・子供基金に対するご意見ご質問等は郵便のほか電子メールでも受け付けます。

(NIFTY Serve ID:BXA01057, Internet経由:BXA01057@niftyserve.or.jp 担当 堀内 淳)